

## オーストラリアレポート

# 豪州準備銀行は8月会合で政策金利を据え置き

- 豪州準備銀行(RBA) は政策金利を0.10%で据え置き。「2024年まで利上げなし」とする方針に変更なし。
- RBAは7月会合で決定した9月初旬より国債買い入れ額を縮小させる方針に変更なし。
- 豪州景気はロックダウンの影響から7-9月期のマイナス成長が見込まれるも、2022年には回復する見込み。
- 感染拡大が収束に向かえば、高い成長力が見込まれる豪ドルに資金が流入する可能性も。

### RBAは政策金利を据え置き

RBAは8月3日の理事会において、政策金利を0.10%で据え置くことを決定しました。また、前回会合で決定した国債買い入れ額を縮小(テーパリング)する方針にも変更はありませんでした(図表1)。市場では、豪州における新型コロナウイルスの感染再拡大(図表3)とシドニーにおけるロックダウン措置の延長等を受けて、RBAがテーパリングを延期または撤回するとの観測も浮上していました。

### RBAは2022年の力強い成長を見込む

豪州景気は、感染拡大やロックダウンの影響から2021年7-9月期GDP(国内総生産)成長率は前期比でマイナスとなることが見込まれるものの、RBAは2022年には豪州経済が4%を上回る力強い成長となるとの見通しを示しています。

RBAは強気の景気見通しの背景として、①過去の事例では、感染拡大が抑制された後、豪州経済は早期の回復を示してきたこと、②2022年末までに大多数の国民へのワクチン接種が進むと見込まれること(図表4)、③豪州の失業率はコロナ前の水準までを回復しており、2023年末には4%まで低下が見込まれること、などの要因を挙げています。

### 感染拡大が収まれば、豪ドルへの資金流入も

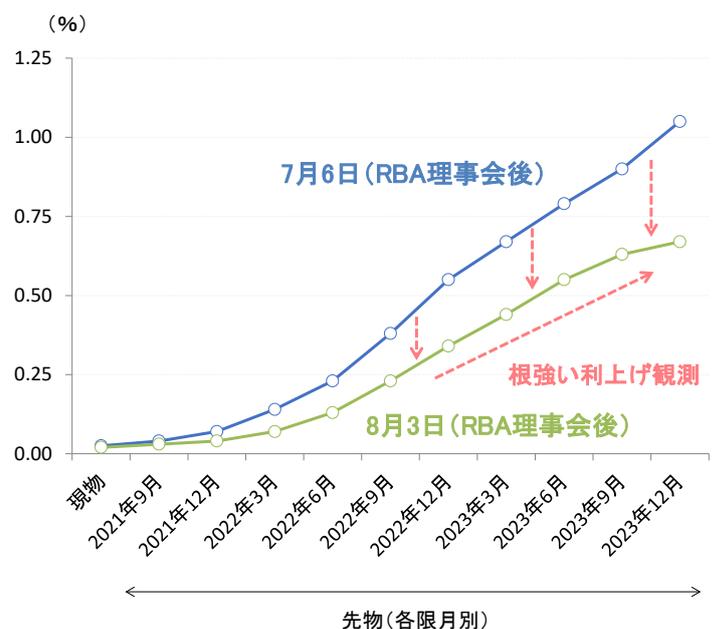
7月6日のRBA理事会以降、シドニーでのロックダウン等の影響から利上げ観測は一旦後退したものの、8月3日時点でも2022年末頃にRBAが利上げ転換するとの見方が市場には残っているようです(図表2)。足元の豪ドル相場は、景気の先行き不透明感の強まり等から、豪ドル安傾向となっています(図表5)。今後、現在のシドニー周辺での感染拡大がロックダウンによって収束に向かえば、市場の注目は2022年に向けた豪州の景気回復や、RBAによる利上げ観測に集まるものとみられます。コロナ収束とともに、豪州のファンダメンタルズに注目が集まり、再び、豪ドルへ資金が回帰することが期待されます。

図表1：豪州準備銀行 (RBA) の政策決定の概要

- **【金利据え置き】** 政策金利 (キャッシュ・レート) を0.10%で据え置き。また、2024年4月満期の豪州国債の利回り誘導目標を0.10%で据え置き。
- **【国債買い入れの縮小(テーパリング)方針を維持】** 2021年9月初旬までは現行の週50億豪ドルの国債買い入れを継続し、その後は少なくとも11月中旬まで週40億豪ドルの買い入れを実施する。
- RBAは債券購入ペースに対して柔軟なアプローチを維持する。債券購入プログラムは、経済状況と感染動向の観点から今後の見直しを継続する。

(出所) 豪州準備銀行 (注) 2021年8月3日理事会の声明文。

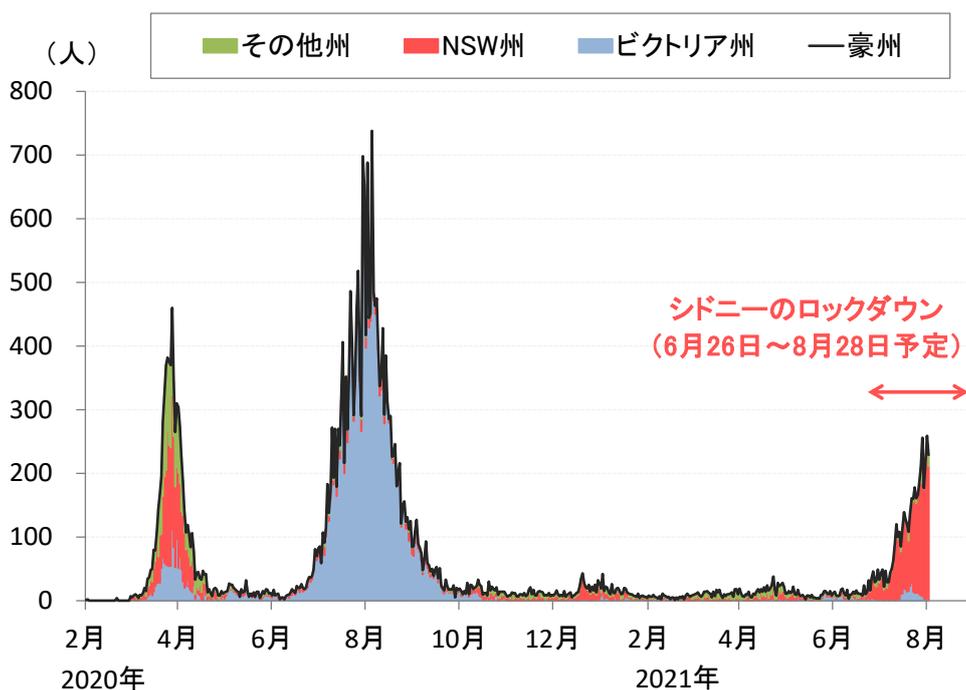
図表2：豪州の銀行間金利 (90日物) の先物カーブ



(出所) ブルームバーグ

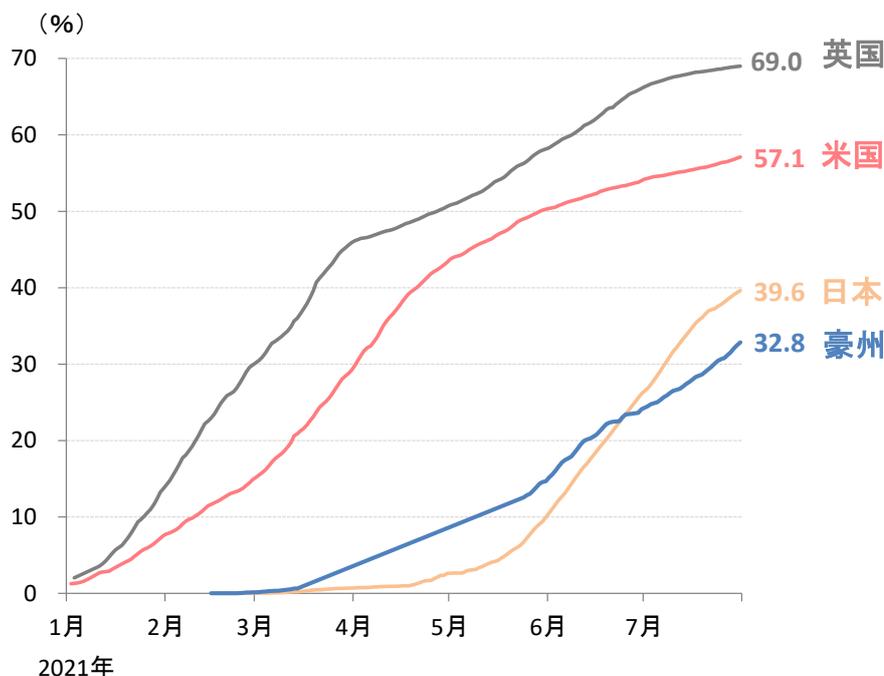
(注) 7月6日と8月3日時点の先物のイールドカーブ

図表3：豪州の新型コロナウイルスの新規感染者数の推移



(出所) 豪州公共放送ABC  
 (期間) 2020年2月1日～2021年8月2日 (日次)  
 ※ NSW州はニューサウスウェールズ州

図表4：主要国の新型コロナウイルス・ワクチン接種率の推移



(出所) Our World in Data  
 (期間) 2021年1月1日～7月31日 (日次)  
 (注) 最低でも1回以上のワクチン接種を受けた人の比率。

図表5：豪ドル相場（対米ドル・対円）の推移と市場予想



(出所) ブルームバーグ

(期間) 2019年1月1日～2021年8月2日 (日次)

## 【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、フランクリン・テンプルトン・ジャパンの情報を基に、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮していませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

## &lt;設定・運用&gt;



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

コールセンター 0120-762-506  
9：00～17：00（土日祝日・年末年始を除く）  
ホームページ <https://www.nam.co.jp/>